



2025 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 日創グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 石田 徹
(コード：3440 東証スタンダード・福証)
問合せ先 取締役 I R・S R 部長 諸岡 安名
(TEL 092-555-2825)

**資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ
(アップデート)**

当社は、本日開催の取締役会において、2024 年 10 月 15 日開示の第 4 次中期経営計画『『創る』力で未来に挑む企業グループ』にて公表いたしました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、現状の分析・評価を行い、内容をアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご覧ください。

以上

添付資料：「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」

資本コストや株価を 意識した経営の実現に 向けた対応について

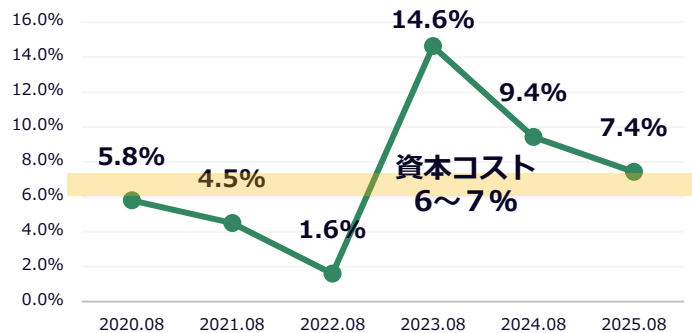
2025年10月15日

日創グループ株式会社

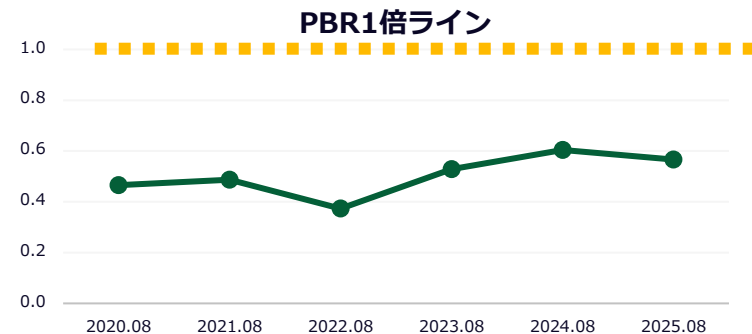
証券コード：3440

- ・ 当社グループの資本コストは6～7%と推定。ROEは、2022年8月期を境に改善し資本コストを下回ってはいないものの低下傾向。PBRは1倍を下回る0.4～0.6倍で推移。
- ・ PERは直近改善傾向であるものの、当社の成長性に対する評価や期待度は、依然として低いと想定。

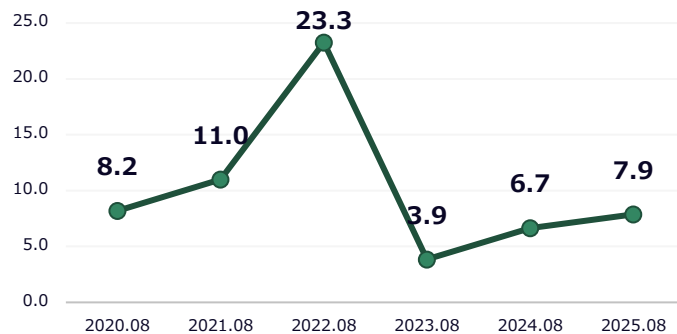
ROE (%)



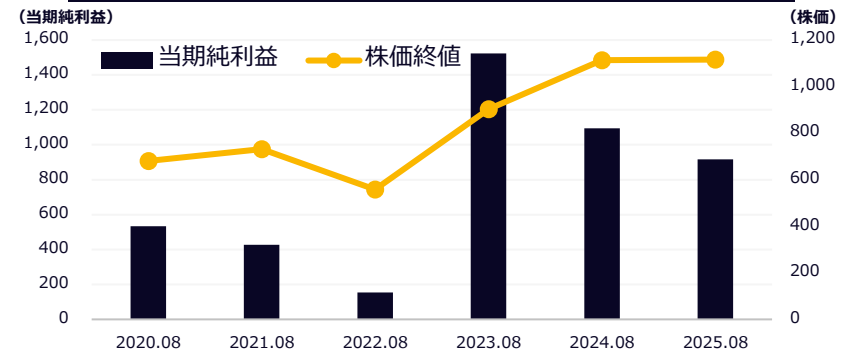
PBR (倍)



PER (倍)

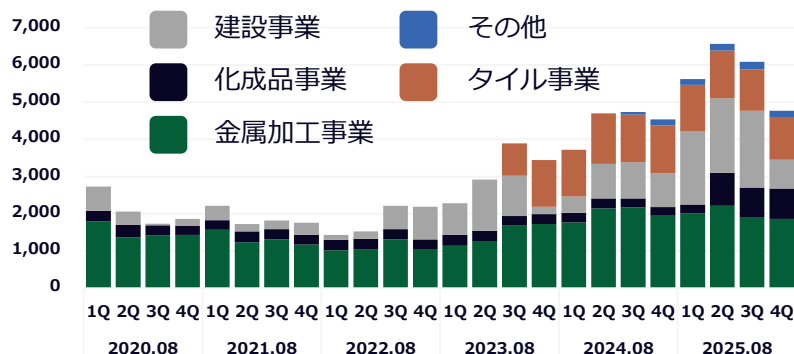


当期純利益 (百万円) と株価終値 (円)



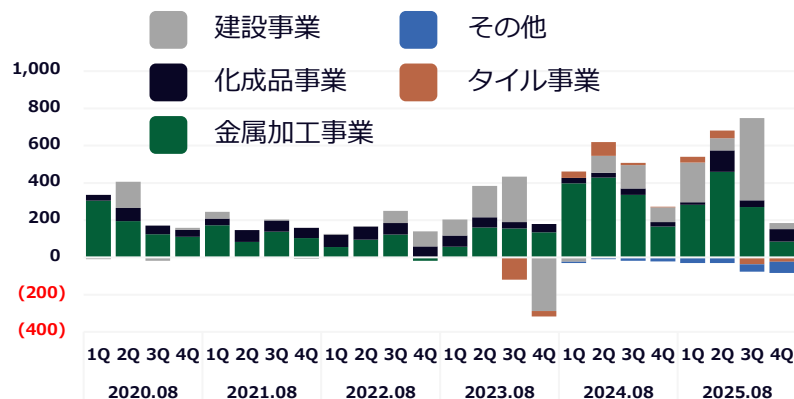
- 積極的なM&Aを通じて事業成長しているものの、フロー型収益がほとんどを占め、建築・建材に関連する事業の占める割合が高く、また、住宅・非住宅関連投資動向や市況感の影響を受けやすく、案件規模にも左右され、業績のボラティリティが高い傾向にある。
- 特に安定的に高い収益性を維持し、利益のボラティリティを低減する必要がある。

セグメント別四半期売上高推移 (単位：百万円)



▶ 通期ベースでは売上高成長しているものの、四半期毎推移では業績の波がある

セグメント別四半期営業利益推移 (単位：百万円)

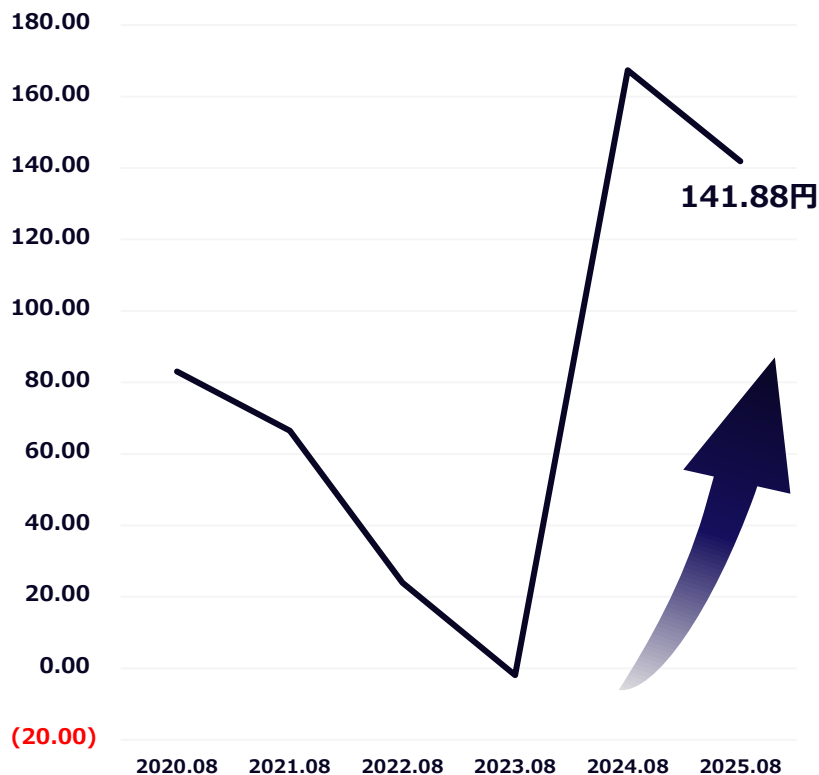


▶ 通期ベースでは営業利益の成長を確保しているが、四半期毎の推移では、利益のボラティリティが高い傾向にある。

「調整EPS（※）」の推移をみると、2023年8月期に底打ちし、上昇基調で推移しており、EPSの状況は良好であると認識。今後も上昇トレンドを確保。事業面では、今後もM&Aを推進する方針であることから、さらなるEPS増加・積み上げを目指していく。また、引き続き、業績が株価へ反映されるようなIR活動を、推進・強化していく方針。

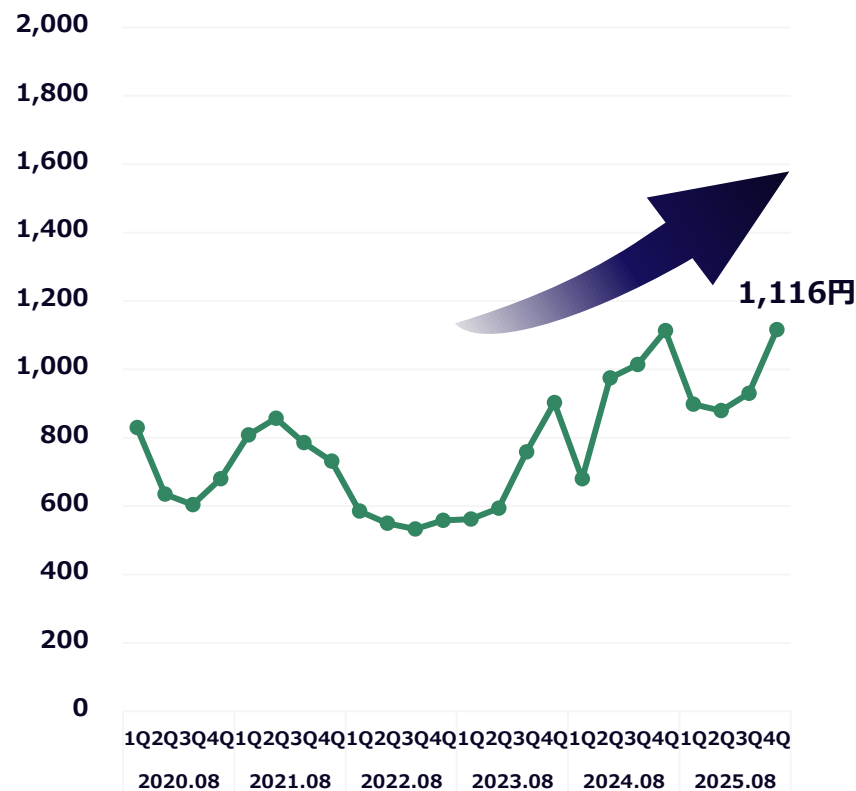
調整EPS推移

(単位：円)



株価推移 (各四半期末終値)

(単位：円)



※調整EPS：当期純利益（負ののれん発生益の影響除外）÷期中平均株式数

PBR1倍以上を達成するため、稼ぐ力と成長期待度・信頼度をあげていく。

目標1倍以上

PBR

=

目標8%

ROE

×

目標12.5倍以上

PER

時価総額
自己資本

当期純利益
自己資本

時価総額
当期純利益



中期経営計画目標の達成

- ・ 連結売上高 300億円
- ・ 連結EBITDA 27億円



シナジーを生み出す要素

- ・ M&A投資 50億円
- ・ 先行投資 10億円
 - 人財
 - 新規事業
 - 新製品開発



IR活動等の促進

- ・ IR活動の推進・強化
- ・ 業績ボラティリティの低減と成長ストーリーの両立

■ IR活動の強化状況

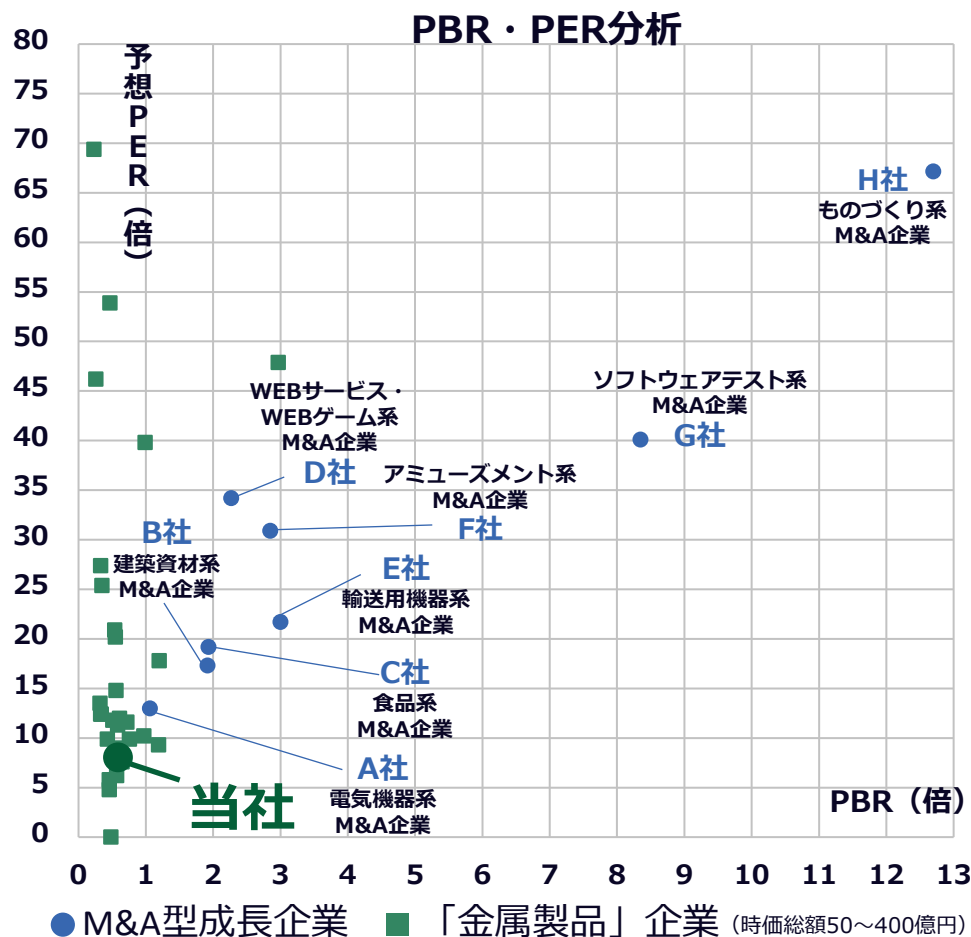
	2024年8月期	2025年8月期	強化
IRイベント 登壇	・ 2024年 4 月福証IRフェア登壇	・ 2025年 1 月福証IRフェア登壇 ・ 2025年 5 月湘南投資勉強会登壇 ・ 2025年 8 月福岡セミナー登壇 ・ 2025年10月福証IR（予定）	
決算説明 資料開示	・ 4 Q決算説明資料	・ 2 Q決算説明資料 ・ 3 Q決算説明資料 ・ 4 Q決算説明資料	
決算説明会 の実施	・ 1on1取材の実施（機関向け） ・ 2 Q 4 Q説明会（記者会見のみ）	左記に加えて ・ 2 Q決算説明動画の公開 ・ 3 Q決算説明会（配信）の開催 ・ 4 Q決算説明会（配信）（予定）	
決算説明 動画開示	・ 公開なし	・ 2 Q動画公開 ・ 3 Q動画公開 ・ 4 Q動画公開（予定）	

■ メディア露出増加

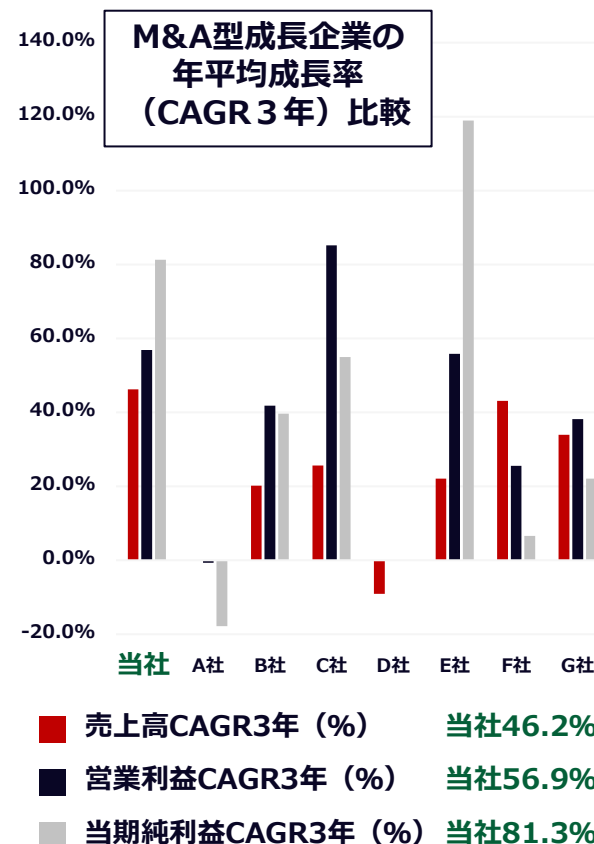
2025年 4 月 FMラジオ「となりのカイシャに聞いてみた！」出演
2025年 6 月 日経CNBC「朝エクスプレス」内にてアナリスト注目銘柄として紹介
2025年 7 月 毎日新聞出版社「週刊エコノミスト」内にて注目銘柄として紹介
2025年 7 月 東洋経済新報社「四季報速報」がネット系証券会社を中心に配信
2025年 8 月 ダイヤモンド社「ダイヤモンドZAI」内にて「1年で2倍株」銘柄として紹介
2025年10月 日経BP社「日経マネー」内にて「勝てる！日本株」銘柄として紹介

当社株式は、東証33業種分類上「金属製品」にカテゴライズされており、同業種分類（時価総額約50～400億円）企業と比較すると、PBR水準の近い企業が多い。

一方で、**M&A型成長企業との比較では**、当社も年平均成長率は相応に確保しているものの、当社株式のPBR・PERは低位にある。適切に評価されるべく、当社の強みや成長性を市場へ伝える努力をより一層意識し実践。

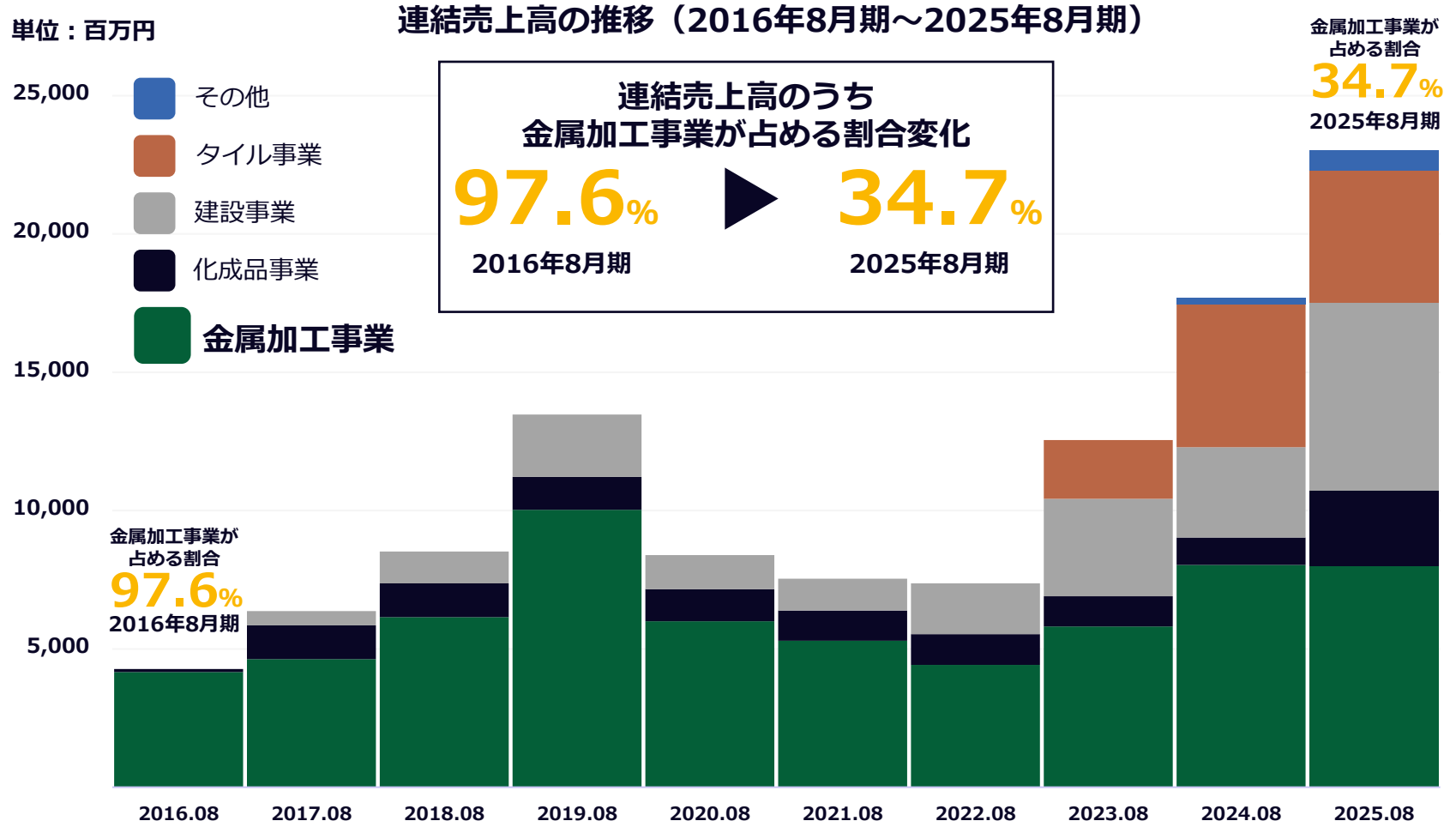


（2025年10月7日時点株価・予想PERで算定）



出典：各社開示資料、Yahooファイナンス、株探、マネックス証券銘柄スカウター、バフェットコード等を参考に当社作成（H社CAGR3年データなし、G社予想PERはG社開示資料より当社推計）

当社株式は、東証33業種分類上「金属製品」にカテゴライズされているものの、連続的にM&Aを行う過程を経て、グループ経営開始時の2016年8月期時点で**売上高全体の97.6%**を占めていた金属加工事業の割合が、**2025年8月期現在34.7%**まで低下。「金属製品」以外のカテゴリに広がりを見せている。





CONTACT

お問い合わせ

日創グループ株式会社
グループ経営戦略本部 IR・SR部

☎ 092-555-2825

🌐 <https://www.nissogroup.com>

✉ ir@nissogroup.com

■ ディスクレーマー

本資料に記載されている計画、予測又は見通しなど、将来に関する事項等は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、将来の業績等を約束するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。